

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	設楽 健夫 【一問一答】	1. 市長等特別職の政治倫理条例と会議録について－公明・公正・公平な市政を求める－（近隣市町村は制定されている）	①前回答弁「常勤特別職におきましては条例案を提出すべきか、話し合いをした経過はございますが、記録はございません。」の内容について討議（話し合い）課題と経過の報告を求める。	市長及び担当部長
			②「政治倫理条例の制定は、常勤特別職のみならず、職員、行政に携わる方々が足並みを揃えるべき」の前回答弁について足並みが揃わないについての具体的な説明を求める。足並みが揃わない原因は何か答弁を求める。	
			③前市長提出の市長等特別職の政治倫理条例についての特別職検討の有無・内容を問う。	
			④市報に酷似した市長後援会報著作権侵害問題の市長公室長答弁「著作権の侵害にはあたらないと理解している」について問う。	
			⑤3/26付「地区公民館」復活要望書、3/30付あゆみ祭り日程を8/16へ戻す要望書について問う。（歴史と伝統－市民不在の市政の転換を求める）	
			⑥安全運転管理委員会・公金等取り扱い適正化計画例規について問う。	

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	設楽 健夫 【一問一答】	2. 千代田石岡インター周辺 (工業団地)土地利用調査、 スマートインター設置調査、 歩崎公園湖岸栈橋調査の 起案書及び仕様書につい て	①政策経営課発行の印刷物の整備イメージ図の発行経過について説明を求め る。 (歩崎公園湖岸ヨットハーバー、東西縦貫道跨線橋の決定経過について問う)	市長及び 担当部長
			②千代田石岡インター周辺(工業団地)土地利用調査、スマートインター設置 調査の予算起案書及び調査発注仕様書について説明を求め。	
			③志戸崎活性化計画書、栈橋補助金返還後の栈橋予算計画書について説明を求 める。(予算と補助事業等)	
			④最重要である案件、国道6号バイパス事業化と霞ヶ浦二橋路線調査推進予算 について説明を求め。	
		3. 地域包括ケアシステ ムにおける地域支援事業 の基盤づくりと包括支援 センターについて	①中学校区単位の高齢者人口と高齢化率の現状と20年後の予想について問 う。	市長及び 担当部長
			②中学校区単位の生活支援コーディネーターと協議体創設の基本方針と進捗状 況について問う。	
			③地域包括ケアシステムと包括支援センターの市におけるあるべき姿について 問う。	
			④人口2万人の下稲吉中地区高齢化率の見通しと図書館公民館コミュニティセ ンター設立について問う。	

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	古橋 智樹 【一括方式】	正規・非正規雇用キャリア一本化をめざすまちづくり	<p>デフレ経済の改善実感までには、まだ当分年数がかかるものと推察します。その状況から昭和期のような雇用条件に戻すことは、誰しものが到底不可能であろうと察するところです。雇用側は、薄利多売の状況に事業所として社会保険に加入するどころか、未だ人材派遣を多用して利益を図っているところであり、一方の雇用される側は、核家族化による住宅ローンや車一人一台などの需要に応じた子供を預けた共稼ぎ労働が増えざるを得ない状況となり、総従業員数数の供給過多により、非正規雇用が増える実態であろうとも存じます。そこで市長は「市民や企業に選ばれる街をめざす」とのキャッチコピーを掲げているが、まずは、正規・非正規雇用の識別化を当市において、社会通念上の識別撤廃でキャリア一本化とした宣言をめざし、雇用条件による格差社会の消極的意識を軽減して多くの市民を迎え、市の補助事業においても、正規雇用の条件は不問として事業主への提供拡大等を図り、市役所内においても、臨時職員への処遇改善等を図り、職場内の雰囲気や活力を高めることに寄与すべきことについて、ここ2年間の職員採用実績が男女比1：1で採用試験の応募も同比率となるよう男女共同参画として取組みをアピールすることも含め、市長の考えを伺います。</p>	市長

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.4

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	来栖 丈治 【一括方式】	1. 本市の人口ビジョンの実現に向けた諸施策について	①本市の人口ビジョンの実現に向け諸施策が実施されていますが、本市の特殊出生率を上げるため現状では進捗が図れるのか疑問です。幾度か提案している組織仮称若者結婚支援センターを設立し、おせっかいお母さんの仲人事業など市民の総力で若者の結婚推進を提案してきましたが、その後の対応協議について伺います。	市長及び教育長
			②教育の場で、晩婚化の弊害や高齢出産の危険性、結婚の意義、神聖な性教育が必要と考えますが、学校教育の中でどのように進められているか伺います。	
		2. 空家対策、利活用について	①昨年9月、かすみがうら市空家等実態調査報告書がまとめられましたが、空家の管理をふるさと納税の返礼品の代わりに、空家屋敷の見回りを行う自治体、あるいは、JAの不動産管理部門の事業として管理を担おうとする動きがあります。本市の空家の利活用とサービス向上の考えからその後の進捗と空家バンクの動きについて伺います。	市長及び担当部長
			②国土交通省で「農地付き空家」の手引きを公表し、地方の空家の利活用と移住促進に向け農林水産部局との連携、農業委員会の許可の課題など記されています。本市の空家の利活用や移住促進を諮るため、そして人口減少抑制策と合わせ政策を加速させていく必要がありますが、今後「農地付き空家」の取り組みについて伺います。	

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	来栖 丈治 【一括方式】	3. 公共施設の管理計画について	①霞ヶ浦地区内小学校跡地は、跡地活用を希望する法人や団体と優先交渉権を与え、平成29年度内に地域の理解促進を踏めるため地域説明会などが行われました。私もあじさい館と旧下大津公民館での説明会に参加しましたが、その後、進捗状況を聞きたいとの相談が相次いでいます。市と優先交渉権者との協議機会と内容などの公開、地域住民への説明など実施する方向なのか、今後結論としてどのように進捗するか伺います。	市長及び副市長
			②副市長の直属部署として、行財政改革並びに公共施設の最適化を図る機構改革が行われ、スピード感をもって課題克服に取り組む方向と歓迎しています。しかし、現在は霞ヶ浦地区の廃校活用問題ですが、近い将来千代田地区にも4つの廃校問題が広がります。どのような信念をもって取り組むのか伺います。	
		4. 市民生活の安全のため、道路管理担当課と区長との連携、市民協働体制の構築について	①降雪、降雨後の道路凍結が発生しています。市民生活の安全の為、道路管理担当課と区長の連携について、現状と問題点について伺います。	担当部長
			②これまでは区長会を担う市秘書広聴課で、区長会総会において協力いただきたい事項を文書連絡等を行ってきたと思いますが、道路の凍結などの際、塩化カルシウムの調達、散布、対応などについて区長と関係課の認識にずれがあること。また、行政区内での引き継ぎ不足、行政区内の連絡不足など、指摘する声が市民や区長からありました。区長会担当課でどのような依頼、関係課との調整、行政区との調整が図られて来たか、市民生活の安全最優先での改善策などについて伺います。	
③市長方針や総合計画で市民協働のまちづくりが示され、この度市民協働課が新設され具体的な事務が示されました。本市の市民協働体制を整えていくため、第一に職員の認識と対応力の向上、そして、第二に行政区長さん方や団体の長の理解と連携、第三に市民との協力体制の構築と考えます。今後どのような信念で推進するのか伺います。				

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	来栖 丈治 【一括方式】	5. 本市として、国際理解の促進や平和教育などを進めるため、仮称国際交流協会の設立について市長の所見を伺う。	国際理解や視野の広い担い手づくりのため、青年、女性を中心に様々な主体による海外への派遣事業が行われてきました。本市では少年のつばさ事業を数年前まで実施してきました。派遣された皆さんの経験を活かし市民の国際理解を図るうえで、外国人を励ます機会やホームステイを受け入れる団体、個人の活動は意義のあることと考えます。本市の国際交流は派遣事業への費用補助のみで、具体的な動きがありません。派遣事業経験者の方々を組織化し、国際交流の促進、あるいは、外国人のまちづくりへの協力を図っていくうえで、仮称国際交流協会の設立について市長の所見を伺います。	市長及び教育長
		6. 外国人登録法が廃止され、外国人の方も住民基本台帳で管理されていますが、国民健康保険や福祉制度の取り扱いについて伺う。	①平成30年4月から制度変更のあった国民健康保険について、市民の立場から概略説明をお願いいたします。	副市長及び担当部長
			②平成24年7月、新たな在留管理制度が始まり外国人登録法が廃止され、外国人の方も住民基本台帳にのるようになりました。省令改正で国民健康保険加入要件が、一年間から3か月に短縮され、外国人が本国に一時帰国する場合に、再入国手続きをすることで最長5年間の社会保障、福祉制度を受けることが可能になっていると聞きます。これにより、一部ですが国民健康保険の負担増や児童手当などの詐取を懸念する意見があります。そこで、国民健康保険税は前年の所得によりますが、外国人の加入、保険税の納入や高額医療費の負担、限度額の手続きは同様と判断できますが、制度変更後、高額医療費限度額申請による本市の負担はどの程度あったか伺います。	
			③詐欺、詐取行為と疑義がある場合、どんな対策が講じられているのか。また、通常事務では、職権消除の手続きや国民健康保険の抹消など考えられますが、期間はどの程度かかると推定されるか伺います。仮に本市の外国人研修生が逃走した場合、事業主や警察署、在留管理制度を所管する法務省との連携、情報の共有、保険証を交付する市町村の被害を食い止めるための調整は図られているか現状をお聞きします。	
④外国人の児童手当などの手続きについて伺います。加えて、児童手当などは本国への帰国中支払われるのか、法務省との情報共有、詐欺や詐取に対する対応はされているのか伺います。				

一般質問通告事項一覧

平成30年第2回定例会 No.7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	佐藤 文雄 【一括方式】	1. 新たなごみ処理施設建設について	①新広域ごみ処理建設計画から脱却し、現有施設（新治地方広域事務組合環境クリーンセンター）を活用することについて、問う。	市長及び 担当部長
			②ごみ減量化・資源化の具体的取り組みに係って3月議会で提案した「新治地方広域事務組合環境クリーンセンターの視察見学を地域挙げて実施する」ことについて、検討結果を問う。	
			③ごみ運搬費用について、現行の運搬費用と霞台厚生施設組合に集約した場合の対比について、検討した数値はあるのかについて、問う。	
			④家庭ごみの有料化について、市長の見解を問う。	
			⑤震災復興特別交付税について、その活用等の問題を問う。	
			⑥住民不在の新広域ごみ処理施設建設について、問う。 ・7月の市長選の争点に新広域ごみ処理施設建設推進を何故掲げないのか。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

平成30年第2回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者	
		(質問の区分)			
(4)	佐藤 文雄 【一括方式】	2. 教育・子育て支援について	<p>①保育士及び児童クラブ支援員の給与などの処遇改善について、現況と対策を問う。</p> <p>②待機児童解消及び希望するすべての子どもたちが放課後児童クラブに入れるための対策を問う。</p> <p>③障害児保育に係る保育士加配に対する当市の実施状況について、問う。</p> <p>④新生児聴覚検査の補助について、問う。</p> <p>⑤小中学校給食費無料化の必要性について、問う。 ・「学校における働き方改革に係る緊急提言」2017. 8. 29についての見解も問う。</p> <p>⑥就学援助制度活用の拡充について、問う。 ・当市における就学援助対象者が他自治体と比較し、少ない。保護者への通知について、現状はどうなっているのか。</p> <p>⑦高校生までの子どもの医療費完全無料化について、問う。 ・県は子どもの医療費助成事業について、10月から高校生まで拡大（入院）するが、当市の対応はどうなっているのか。</p>	市長及び 教育長及び 担当部長	
		3. 国民健康保険税について	<p>国保税の引き下げについて、子育て支援の観点から少なくとも子育て世帯の子どもへの均等割を軽減することができないか、改めて問う。 ・取手市では、今年度から18歳以下の均等割が50%の減額になる。</p>		市長及び 担当部長
		4. 生活保護切り下げについて	<p>政府の生活保護基準の引き下げに、どう対処するのか、問う。 ・当市における生活保護の捕捉率が他自治体と比較し極端に低い。その原因も含めて対応策を問う。</p>		